

## 講演会 「新素材のなせる技！」 ～環境を支える繊維技術～

近年、地球環境の変化が懸念されており、環境を支える技術開発に注目が寄せられています。特に繊維技術は、地球環境に優しく、地球環境を守る技術として、また、快適な生活空間を創造する技術として発展し続けています。

本講演会では、まず身近な環境の快適化に目を向け、自動車業界における二酸化炭素低減に向けた取り組みや騒音低減に貢献する技術について紹介していただきます。更に地球環境においては、震災復興のための技術や環境負荷を低減できる技術について紹介していただきます。

いずれも非常に興味深い講演になるかと思しますので、多数の方々のご参加をお待ちしています。

**日時** 平成 27 年 7 月 10 日 (金) 13.00～16.50

**会場** 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28 号出口北へ徒歩 5 分)

**内容** (1) 綿 (コットン) を複合した射出成形材料「BIOPELLET®/バイオペレット」(13.00～13.50)

..... 倉敷紡績(株) 技術研究所 副所長 宮外 清貴

近年、自動車業界をはじめ環境負荷低減のため天然素材を活用した新素材が多く提案されています。トヨタ車体と共同で開発したコットンを補強繊維に用いた射出成形用の複合材料「BIOPELLET®」を紹介します。本製品はコットンの有用性を活かし繊維長を保持しつつ高繊維含有率を達成することで優れた力学特性を実現しています。

(2) ナノファイバー吸音材料の次世代自動車への展開 (14.00～14.50)

..... 東京工業大学大学院 理工学研究科 物質科学専攻 助教 赤坂 修一

近年、普及が進んでいるハイブリッド車、電気自動車などの次世代自動車は、これまでのエンジン車に比べ、低騒音化しているものの、新たな問題も発生しています。ナノファイバー吸音材料は、一般の吸音材料に比べ、薄く、軽くても低い周波数域の吸音を示す材料として注目されています。本講演では、自動車騒音の変化とナノファイバー吸音材料の展望について報告します。

(3) セシウム吸着機能材料 (15.00～15.50)

..... 明星大学 理工学部 総合理工学科 環境・生態学系 教授 宮脇健太郎

現在、長期的な放射性物質汚染に対する技術として、吸着除去の効率化が検討されています。近年、高性能吸着材料の開発とともに、実用に耐えられる複合材料の検討が行われています。放射性物質汚染の問題点から、各種セシウム吸着材料 (主に繊維複合材料) の性状と吸着試験 (実験室試験や実証試験) の概要などを紹介します。

(4) 放射線を活用した機能性繊維材料の開発 (16.00～16.50)

..... (独)日本原子力研究開発機構 環境資源材料研究グループリーダー 瀬古 典明

繊維を効率良く機能化するための道具として放射線を活用し、水中に溶存している金属類を効率良く捕集可能な吸着材料や廃油をバイオディーゼル燃料に転換可能な触媒材料を開発した研究について紹介します。また、この繊維材料の特徴を生かして商品化したセシウム除去用給水器についても紹介します。

**協賛** 大阪染色協会

**定員** 40 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

**参加費** 会員 10,000 円, 非会員 18,000 円, 学生会員 1,000 円, 学生非会員 2,000 円 (税別)

**申込** 「講演会—新素材のなせる技」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

**申込先** 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: i-love-tmsj@nifty.com

## 見学会 「(株)アシックス スポーツ工学研究所」

2015年、(株)アシックスの掲げる「スポーツで培った知的技術により、質の高いライフスタイルを創造する」というビジョンを具現化する基幹部門である同社スポーツ工学研究所に、新館が増設されました。

同研究所は、「Human centric science」にこだわり、人間の身体や運動動作に着目・分析し、イノベーティブな技術・製品・サービスを生み出し続けています。これを可能としているのは、同研究所が有する、全天候型トラックや体育館などの動作分析のための環境設備と、成型加工設備、人工気象室や化学分析、材料物性試験といった製品や評価技術開発のための設備、そしてそれを使い新たな技術と製品、サービス開発に結びつけている研究者の存在です。

此度、同研究所の見学会を企画しました。また、同研究所の研究者より、アスリートのための着装シミュレーション技術の開発と、製品のサポートサービス開発の事例について講演も頂きます。多数の方々のご参加をお待ちしています。

**日時** 平成 27 年 7 月 21 日 (火) 13.30~16.45

**会場** (株)アシックス スポーツ工学研究所 (兵庫県神戸市西区高塚台6丁目2番1)

**内容** 挨拶・研究所紹介 (13.30~13.45)

..... (株)アシックス スポーツ工学研究所 西脇 剛史

1. 講演会 (13.45~15.05)

(1) 機能アパレルにおけるカスタマイズ設計 (13.45~14.25)

..... (株)アシックス スポーツ工学研究所 アパレル機能研究部 アパレル機能開発チーム 小澤 明裕  
アスリートの体型は千差万別であるため、標準体型を基に設計されたアパレルは、期待される機能を最大限に引き出しているとは言い難い。本報告では、個々の体型に合わせたパターン設計を行うための着装シミュレーション技術を紹介しします。

(2) より良い Running experience の提供—モノづくりとコトづくり— (14.25~15.05)

..... (株)アシックス スポーツ工学研究所 アパレル機能研究部 田川 武弘  
当研究所では、高機能商品の開発に加え、それをサポートするサービスの開発も行っています。本報告では、サービス開発の例として、自分に合ったランニングシューズを選択する「ASICS FOOT ID」、また効果的なランニングトレーニングを提供する「MYASICS」について紹介しします。

2. 名刺交換・休憩 (15.05~15.25)

3. 見学会 (15.25~16.25)

見学内容：バイオメカニクス実験室、化学分析室、人工気象室、実験体育館、身体形状測定デモ、傾斜走路、材料試験室などを見学予定です。

4. 質疑応答 (16.25~16.45)

**協賛** 大阪染色協会

**定員** 40名 (定員になり次第締め切らせて頂きます。なお、同業他社の方は都合によりご遠慮頂く場合がありますので、あらかじめご了承下さい。)

**参加費** 会員 4,000円、非会員 8,000円、学生会員 1,000円、学生非会員 3,000円 (税別)

**その他** 地下鉄西神・山手線「西神中央」駅より「スポーツ工学研究所」まで送迎バスをご用意致します。集合時間等の詳細につきましては、申し込み後ご連絡させて頂きます。

**申込** 「見学会—アシックス スポーツ工学研究所」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先 (所在地、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス)、④会員種別を記入の上、FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

**申込先** 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4、大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: i-love-tmsj@nifty.com

## 講演会 「技術立国日本の先駆者（第2回）」

日本繊維機械学会は昭和23年に設立され、本年で68年目を迎えます。設立当初は戦後の復興期に当たり、繊維産業は基幹産業として我が国の経済再興の牽引役を果たし、戦後経済発展の一翼を担ってきました。それから約70年経過し、紆余曲折を経て産業としての舞台は東南アジア諸国に移りつつありますが、その基礎となる関連技術は我が国において、益々発展の一途にあると言っても過言ではありません。

本学会では、平成20年に「フェロー制度」を設け、以後、毎年学術技術の進歩発展に顕著な貢献をなされた方にフェローの称号を授与しています。この技術立国日本の礎をつくった先駆者の方々に講師に招き、成功と失敗談、光と陰の部分を腹藏なく語って頂く講演会を企画しました。ベテランはもちろん、若手の方々にも是非ご参加をお勧めします。

**日時** 平成27年8月21日(金) 13.30~17.15

**会場** 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28号出口北へ徒歩5分）

**内容**

(1) 日本の毛織物染色・整理技術の変遷と差別化商品開発への挑戦（13.30~14.30）

……………日本繊維機械学会フェロー、森技術士事務所 森 益一  
私は戦後の日本の復興期に、当時、著名な毛織物の染色・整理会社に就職、以来46年間ひたすら毛織物の染色・整理の現場で、技術の研鑽と新商品開発に専念してきました。入社した昭和25（1950）年当時はまだ戦前のヨーロッパ製の機械設備や、染色・整理技術で工場のレイアウトから仕上方法、製品の風合いまで英国式の基本であった。その直後に洋服地の需要の急増から毛織物加工設備の連続化、高速化更に既製服化の進展とともに毛織物の風合いも昭和25年当時の物とは異なり一言で言えば紙のようなものになっていた。その原因はいくつかあるが紡績や織布の高速化省力化、合成繊維混紡・交織織物の増加、生活環境の変化による服地の軽量化もある。しかし、1970年代になって既製服の快適性の追求が求められ、生地（風合い）に対する要望も高まってきた。KESの開発もその時期である。その後、1980年後半からイタリア製品の輸入だけでなく整理加工機の大量導入で毛織物の仕上の基本を変える大ブームを引起こし、現在に至っている。筆者はこれらの大きな3つの変遷を体験した。これらをKESを使って科学的に解析し、日本の毛織物染色・整理技術の変遷を説明する。

一方、10年間は染色の現場で実務を経験し辛酸もなめた。当時の新技術1:2型含金染料の導入、羊毛用反応性染料によるCold Pad Batch染色処方及び毛織物の防縮技術Van Cola, Neva-Shrinkについて説明し、参考に供する。更に、筆者は委託加工の染色、整理業の立場で常に顧客に対して新しい差別化商品開発提供を任とし、常に最先端の新技術を提供してきた内容についても簡単に説明する。

1996年に森技術士事務所を開設、イタリア、韓国及び日本の数社に技術指導。現在は新商品開発、関連の論文の投稿を始め業務を継続している。別にKESの課題と今後の方向について提案し、討論のテーマに供したい。

(2) 布の動的ドレープ係数の紹介（14.45~16.15）

……………日本繊維機械学会フェロー、カトーテック(株)技術顧問、テキスタイル風合い研究所代表 松平 光男  
昭和55年（1980）の4月、故川端季雄先生に弟子入りして以来、テキスタイルの風合い、外観、快適性に関する研究に従事するようになり、本年3月金沢大学を定年退職するまで、テキスタイルの研究は丁度35年間になります。テキスタイルの風合い研究では、恩師である川端、丹羽先生らの研究のまねごとで終わってしまったようです。今回はテキスタイルの外観に注目し、新しく提案できた布の動的ドレープ係数（回転ドレープ増加係数、飽和ドレープ係数、反転ドレープ係数）について、その定義と意義を紹介したいと思います。動的ドレープ係数を用いたフレアースカートの外観客観評価についても紹介します。また、テキスタイルの快適性についても、若干の試みと水分移動特性測定装置についても触れたいと思います。

(3) ディスカッション（16.15~17.15）

**講師略歴**

森 益一 ……1950年、岐阜工業専門学校紡織科卒業。同年、艶金興業(株)に入社。1953年、同社津島工場染色主任。1959年、同社起工場工務課長兼染色主任。1970年、同社工務担当重役。1976年、中日本繊維工業協同組合（墨総合研究所）常任理事、ツヤック(株)専務取締役兼務。1996年、艶金興業(株)墨総合研究所を退職。1996年、森技術士事務所を設立。1997年、イタリアピエラの市立研究所にて毛織物仕上技術研修受講。1998年、韓国大一毛織（サムソンの母体）で技術指導。2007年、Japan Textile Contestにて「皮のような毛織物」でグランプリ受賞。2012年、英国Textile Institute社からNew Material Award 2012受賞。現在、日本、タイ、韓国、中国で主として染色に関する技術指導。

松平光男 ……1972年、京都大学工学部高分子化学科卒業。1974年、同大学院（修士）工学研究科高分子化学専攻修了。1988年、同工学博士（繊維工学）。1974年、東芝総合研究所化学材料研究所、1980年、大阪信愛女学院短期大学を経て、1986年から金沢大学教育学部、被服科学、テキスタイル科学担当。ニュージーランド羊毛研究所、ニューサウスウェールズ大学、アグリサーチ社客員研究員を経験。日本繊維製品消費科学会論文賞（2001）、日本繊維機械学会論文賞（2002）を受賞。日本繊維機械学会フェロー（2010-）。2015年金沢大学定年退職、カトーテック(株)技術顧問、テキスタイル風合い研究所代表。

**定員** 50名（定員になり次第締め切らせて頂きます）

**参加費** 会員 2,000円、非会員 5,000円（税別）、学生無料

**定員** 「講演会—技術立国日本の先駆者」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス）、④会員種別を記入の上、FAXまたはE-mailにて下記宛お申し込み下さい。学会HPより参加申込書のダウンロードができます。

**申込先** 日本繊維機械学会 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4、大阪科学技術センタービル  
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: i-love-tmsj@nifty.com

テキスタイルカレッジ

染色加工基礎講座

多様なテキスタイル素材に関連する染色加工技術、品質保証などについて実践的な知識を得たいと思っておられる方々に主眼を置いた「やさしく、わかりやすく解説する講座」を企画しました。

染色加工に従事されている方々のみならず、アパレル製品の品質問題で日々悩んでおられる方々、アパレル製品の企画、設計、販売に携わっておられる方々、クリーニング関係の方々など幅広い分野の方々のご参加をお待ちしています。

**期 日** 平成 27 年 7 月 2 日(木)、3 日(金)

**会 場** 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28 号出口北へ徒歩 5 分)

**内 容**

1 日目【7 月 2 日(木)】

- (1) 染色加工概論 (9.00~12.00) …………… 元カネボウ, 改森技術士事務所代表 改森 道信  
染色加工に携わる方のみならず, 企画や販売, クリーニング関係の方々などより広い方々を対象に, 繊維素材に色をつける方法, 実用衣料に適した性能をもたせる染色加工の基礎をできるだけ平易に説明します。なお, 衣料関係に用いられるのは綿やポリエステルが中心なのでこれらを中心に解説します。
- (2) 染料概論 (13.00~15.00) …………… 元住友化学, 日本繊維技術士センター理事 今田 邦彦  
染色される繊維の化学構造や物性に対応して, それぞれの繊維の染色に適した種属の染料が開発され利用されています。ここでは, 各種繊維に適した染料種属とその特徴について解説し, それぞれの繊維と染料の特性に応じた最適染色条件の設定についても説明します。
- (3) 天然繊維の染色加工 (15.00~17.00) …………… 倉敷紡績(株) 技術部門 技術部 製造課 井神 篤  
綿などの天然繊維を中心とした素材の染色加工において, 連続生産方式による加工工程, 技術について解説します。また, 最近の機能加工についても紹介しながら説明します。

2 日目【7 月 3 日(金)】

- (4) ウールの染色加工 (9.00~12.00) …………… 元日本毛織, 日本羊毛産業協会 専務理事 長澤 則夫  
ウールの繊維構造は複雑であり, 染色・仕上加工を行う方法は多様です。このことを理解するにはまずウールの構造を知る必要があります。ここでは時間をかけてウールの繊維構造を説明し, その上で染色を始めとする付加価値加工の実際について解説します。シルクについても同様に取り上げます。
- (5) 合成繊維の染色加工 (13.00~16.00) …………… 元帝人, 日本繊維技術士センター執行役員 嶋田幸二郎  
ポリエステルとともにナイロン, アクリル等合成繊維の染色加工技術および加工方法について基礎的な考え方についてわかりやすく解説します。さらに原糸開発とともに行った付加価値向上の最近の高機能加工について, コーティングやラミネート等を例にとり, サンプルや体験に基づいて解説します。
- (6) 環境技術概論 (16.00~18.00) …………… 元日本染色協会, 日本繊維技術士センター理事 森本 國宏  
染色加工に必要な各種資源, 特にエネルギー, 水, 染薬剤等の使用に伴う環境側面 (インパクト) について法規制を中心として, 省エネ, 大気・排水規制, ケミカルハザードへの解決法や改善策などの事例をまじえて解説します。

**協 賛** 大阪染色協会, 日本染色協会

**定 員** 30 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

**参加費** 会員 25,000 円, 非会員 33,000 円, 学生会員 3,000 円, 学生非会員 6,000 円 (税別)

**申 込** 「テキスタイルカレッジ—染色加工基礎講座」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

**申込先** 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: i-love-tmsj@nifty.com

**テキスタイルカレッジ****糸づくり講座**

糸づくりのための実践的な技術応用ならびに創造的技術開発を養うために、紡績に関する体系的な知識を工程に沿ってわかりやすく解説されます。

紡績分野に携わっておられる方々のみならず、織編、染色加工、アパレル等の分野で、糸に関する知識を得たいと思っておられる方々には最適のカレッジです。多数の方々のご参加をお待ちしています。

**日時** 平成 27 年 7 月 24 日 (金) 10.00～17.10

**会場** 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28 号出口北へ徒歩 5 分)

**内容** (1) 紡績準備 (10.00～11.10)

ー紡績準備機の構造と作用, 革新技術, 付設設備について解説しますー

……………元日本スピンドル製造, ダイキン工業(株), 日本繊維機械学会フェロー 中村 信

(2) 練糸とスライバー (11.20～12.30)

ー練糸機の構造と作用およびスライバーの構造と物性について解説しますー

……………岐阜大学名誉教授, 日本繊維機械学会フェロー 岡村 政明

(3) リング精紡と新しい紡績法 (13.20～14.30)

ーリング精紡の構造と作用および最近のトピックについて解説しますー

……………(株)豊田自動織機 繊維機械事業部 技術部紡機技術室 紡機技術第 1 G 山本 耕士

(4) 糸の構造と物性 (14.40～15.50)

ー糸の構造と物性について詳しく解説しますー

……………元京都工芸繊維大学, 日本繊維機械学会フェロー 西村 太良

(5) ワインディング (16.00～17.10)

ーワインディング機の構造と作用, 革新技術, 付設設備等について解説しますー

……………村田機械(株) 生産技術課 八木 信篤

**協賛** 大阪染色協会

**定員** 30 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

**参加費** 会員 15,000 円, 非会員 23,000 円, 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円 (税別)

**申込** 「テキスタイルカレッジー糸づくり講座」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

**申込先** 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: i-love-tmsj@nifty.com

**企画委員会**

委員長 中西 康雅

副委員長 井出 潤也, 田上 秀一, 松崎 健

委員 伊藤 智樹, 稲富伸一郎, 潮田ひとみ, 梅木 英雄, 奥野 智朗, 奥林 里子, 岸田 恭雄,

佐藤 恵美, 杉山 研志, 杉山 稔, 田先 慶多, 徳山 孝子, 仲井 朝美, 伴場 秀樹,

東山 幸央, 廣澤 覚, 山内 康史, 若松 栄史

アドバイザー委員

宇治 光洋, 越智 清一, 岡 卓之, 武内 俊次, 中村 信, 松下 義弘, 六田 克俊

**テキスタイルカレッジ**

**織り組み編み基礎講座**

布は、用途・目的に応じて、「織る」、「組む」、「編む」などの方法で製造されています。衣料用のみならず、産業用途としても織・組・編の構造物が多く用いられている昨今です。これらの構造物は複合材料にも様々な分野で用いられており、それぞれの構造の特徴を捉えることで、さらにその用途を広げる可能性が秘められています。

織・組・編の専門家を講師としてお迎えし、テキスタイルの製造方法や構造・特徴など基礎的な内容から応用分野にわたって、わかりやすく解説していただきます。布の製造工程に携わっておられる方々のみならず、幅広い分野の方々を対象としています。多数の方々のご参加をお待ちしています。

**日時** 平成 27 年 9 月 4 日(金)10.00~17.15

**会場** 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28 号出口北へ徒歩 5 分)

- 内容**
- (1) 織物 (10.00~12.00) …… 兵庫県立工業技術センター 繊維工業技術支援センター 所長 古谷 稔
  - (2) 組物 (13.00~15.00) …… 岐阜大学 複合材料研究センター 魚住 忠司
  - (3) 編物 (15.15~17.15)
    - 1) 経編 …… 日本マイヤー(株) 営業課 課長 三船 宏之
    - 2) 横編 …… あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター 素材開発室 福田 ゆか
    - 3) 丸編 …… (株)福原精機製作所 技術部開発課 武内 俊次

**協賛** 大阪染色協会

**定員** 30 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

**参加費** 会員 15,000 円, 非会員 23,000 円, 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円 (税別)

**申込** 「テキスタイルカレッジー織り組み編み基礎講座」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

**申込先** 日本繊維機械学会  
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル  
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: i-love-tmsj@nifty.com

**テキスタイルカレッジ予定表**

テキスタイルカレッジは、海外諸国に比較して弱体化しつつあり、体系的教育がほとんど行われていなかった我が国の繊維教育に対し、本学会が持つ繊維に関する知識情報の動員機能を活用して、人材育成と技術継承を主目的とした歴史ある教育コースです。

ベテランの方々には知識の整理に、中堅の方々には情報の収集に、若手の方々には基礎知識の吸収に、テキスタイルカレッジへのご参加をお薦め申し上げます。

平成 27 年	
5 月 20 日(水) 「2 日で学ぶ布づくり」(1 日目)	10 月 23 日(金) 「染色加工応用講座」
5 月 21 日(木) 「2 日で学ぶ布づくり」(2 日目)	10 月 予定 「感覚と計測」
7 月 2 日(木) 「染色加工基礎講座」(1 日目)	12 月 4 日(金) 「実習: KES による布特性の測定講座」
7 月 3 日(金) 「染色加工基礎講座」(2 日目)	12 月 8 日(火) 「合織の基礎と最新の技術」(1 日目)
7 月 24 日(金) 「糸づくり講座」	12 月 9 日(水) 「合織の基礎と最新の技術」(2 日目)
9 月 4 日(金) 「織り組み編み基礎講座」	2 月 予定 「繊維製品の品質管理と品質保証」
10 月 8 日(木) 「不織布実用講座」(1 日目)	
10 月 9 日(金) 「不織布実用講座」(2 日目)	

テキスタイルカレッジ

## 不織布実用講座

不織布の概論，短繊維ならびに長繊維不織布の製法，加工法ならびに構造と性質および用途などについて，最新の情報も含めて系統的にやさしく解説します。

シニアの方には知識の整理のため，若手の方は基礎知識の習得を目的としています。不織布についての体系的な知識を得ようとされている方々の多数のご参加をお待ちしています。

**期日** 平成 27 年 10 月 8 日(木)，9 日(金)

**会場** 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町 1-8-4，地下鉄四つ橋線「本町」下車，28 号出口北へ徒歩 5 分）

**内容**

## 1 日目【10 月 8 日(木)】

- (1) 不織布概論 (10.00~12.00)  
 ..... 不織布研究会委員長，日本繊維機械学会フェロー 矢井田 修
- (2) 短繊維不織布技術—乾式不織布 (13.00~14.10)  
 ..... 倉敷繊維加工(株) 企画開発部 部長 近石 尚樹
- (3) 短繊維不織布技術—湿式不織布 (14.20~15.30)  
 ..... 特種東海製紙(株) 総合開発センター研究開発本部 海外販売促進チーム 主幹 服部 景
- (4) ナノファイバー不織布の作製と実用 (15.40~16.50)  
 ..... ナノファイバー研究会委員長，滋賀県立大学 工学部材料科学科 山下 義裕

## 2 日目【10 月 9 日(金)】

- (5) 長繊維不織布技術—スパンボンド (10.00~11.10)  
 ..... 東洋紡(株) スパンボンド事業部長 田中 茂樹
- (6) 長繊維不織布技術—メルトブロー (11.20~12.30)  
 ..... 高知県立紙産業技術センター 不織布・加工課 チーフ 鈴木 慎司
- (7) 不織布の物性測定について (13.20~14.30)  
 ..... 神戸大学大学院 人間発達環境学研究所 教授 井上 真理
- (8) 不織布の用途について (14.40~15.50)  
 ..... クラレクラフレックス(株) 開発加工グループ グループリーダー 新井田康朗
- (9) 修了証贈呈式 (16.00~16.10)

**協賛** 大阪染色協会

**定員** 40 名（定員になり次第締め切らせて頂きます）

**参加費** 会員 25,000 円，非会員 33,000 円，学生会員 3,000 円，学生非会員 5,000 円（税別）

**申込** 「テキスタイルカレッジ—不織布実用講座」と明記し，①氏名，②所属，③連絡先（所在地，電話番号，FAX 番号，E-mail アドレス），④会員種別を記入の上，FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

**申込先** 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4，大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: i-love-tmsj@nifty.com

テキスタイルカレッジ

染色加工応用講座—繊維機能後加工・評価—

テキスタイルカレッジ「染色加工基礎講座」では、染色理論から繊維別での染色加工技術および繊維製品の品質保証に関する基礎について概説しました。「染色加工応用講座」では、基礎講座を踏まえ繊維別染色加工の応用技術だけでなく、高機能素材などの要素技術、さらにはエコ対応・環境関連技術や安全性と法規制など現在の繊維業界が抱えている課題を、繊維業界に長年携わってこられた方々によりわかりやすく解説していただきます。講義内容には、最近の技術の進歩や新たな染色加工技術へと展開についても触れていただいています。染色加工に携わっておられる方々のみならず、アパレル製品関連分野をはじめ環境関連技術分野をも含めた幅広い分野の方々を対象としていますので、多数の方々のご参加をお待ちしています。

**期 日** 平成 27 年 10 月 23 日(金) 10.00~18.30

**会 場** 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28 号出口北へ徒歩 5 分)

- 内 容**
- (1) 機能加工剤 (10.00~12.00) …… 元日華化学, 金崎技術士事務所 金崎 英夫  
最近の機能加工剤は機能の追求だけでなく、安全性、環境への影響を配慮して開発がなされています。ここでは近年話題になっている撥水撥油防汚加工剤、難燃剤、衛生加工剤等を中心に業界の動向や加工処方に関して解説します。
  - (2) 機能加工「ウール」(13.00~14.00) …… 元日本毛織, 日本羊毛産業協会 専務理事 長澤 則夫  
ウールは元々多くの機能を併せ持っています。例えばはっ水性、難燃性、形態安定性、消臭性、セツト性などが挙げられます。しかしその性質を個々に評価すると、いずれもが機能性を訴えるには力不足なので、加工により補強しています。この点をわきまえて、加工の考え方とその実例について解説します。
  - (3) 機能加工「合織」(14.10~15.10) …… 岐セン(株) 常務取締役 営業部門長 後藤 勝則  
合織及びその複合織編物の高付加価値を図る手段として機能性付与加工は、テキスタイル加工の重要な要素技術の一つである。機能性付与技術及び融合技術を染料・染色加工・後工程の各工程での考え方、加工手法などを事例に沿って解説します。
  - (4) 機能加工「綿」(15.20~16.20)  
…………… 倉敷紡績(株) 繊維事業部 技術部門 技術部 開発課 課長 勝圓 進  
天然繊維である綿の人類とのかかわりは歴史的に古く、適度な吸水、吸湿性や風合いの柔らかさなどの特長を生かして、今なお代表的な繊維として様々な分野で使用されています。その一方で、機能性付与についての研究開発も盛んに行われていますので、これらの動向について紹介します。
  - (5) 評価 (16.30~18.30) …… (一社)繊維評価技術協議会 参事, 日本繊維機械学会フェロー 越智 清一  
我が国が得意とする各種機能性繊維の分類例、機能性試験方法の JIS, ISO 標準化提案状況を紹介したあと「清潔」「安全・安心」「快適性」および「イージーケア性」カテゴリー別の代表的な機能性について、その付与メカニズムと評価方法について解説します。

**協 賛** 大阪染色協会, 日本染色協会

**定 員** 30 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

**参加費** 会員 15,000 円, 非会員 23,000 円, 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円 (税別)

**申 込** 「テキスタイルカレッジ—染色加工応用講座」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

**申込先** 日本繊維機械学会  
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル  
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: i-love-tmsj@nifty.com

**テキスタイルカレッジ****実習：KES (Kawabata Evaluation System) による布特性の測定講座**

布の風合いの客観的評価に用いられる布の物理特性値の意味と KES-F の測定原理についての講義の後、少人数での実習を行います。実習では、KES-F (auto system ではありません) によって布の力学的特性 (引張, せん断, 曲げ, 圧縮特性) と表面特性を、KES Thermo-labo II によって熱・水分移動特性 (最大熱流束  $q_{max}$ , 熱コンダクタンス, 熱損失) を測定していただきます。

布の物理特性について学びたい、KES-F を持っているので測定原理を復習したいというだけでなく、基本的な測定条件を知った上で衣料用の布だけでなく触感にかかわる生活材料 (例えば不織布, 皮革類, 紙, フィルム, その他硬い材料など) に応用したい, 様々な条件設定について知りたいなど, これまでの事例を踏まえ, 触感研究への応用に関する様々なご相談にも対応します。布の物理特性を勉強する機会がなかった方や感覚の客観評価に興味をお持ちの方等を対象に, 布の触感の客観評価の基本的用語等を理解できるように企画しました。

企業や大学で既に触感評価にかかわる業務に携わっておられる方にも大いに役立つものと思います。

関係各位多数の方々のご参加をお待ちしています。

**期日** 平成 27 年 12 月 4 日 (金)

**会場** 神戸大学発達科学部

(神戸市灘区鶴甲 3-11, JR「六甲道」または阪急「六甲」下車の後, 各駅北側のバス停より神戸市バス 36 系統 鶴甲団地行 神大発達科学部前 下車)

**講義** (1) KES-F による布の力学特性, 表面特性および熱・水分移動特性の測定

第 1 班: 10.00~11.00, 第 2 班: 14.00~15.00

..... 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授 井上 真理

**実習** (2) 1) 布の曲げ特性, せん断特性, 引張特性の測定

2) 布の圧縮特性, 表面特性の測定

3) 布の熱・水分移動特性 (最大熱流束  $q_{max}$ , 熱コンダクタンス, 熱損失) の測定

1 班を 3 つに分けて, ローテーションで実習を行います。

第 1 班: 11.00~13.00, 第 2 班: 15.00~17.00 ..... 井上真理ならびにカトーテック(株)

必要な方は実習後に質疑等お受けします。

**協賛** 大阪染色協会

**定員** 第 1 班, 第 2 班それぞれ 15 名 (計 30 名) (定員になり次第締め切らせて頂きます)

**参加費** 会員 10,000 円, 非会員 18,000 円, 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円 (税別)

**申込** 「テキスタイルカレッジ—実習: KES による布特性の測定」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別, ⑤第 1 班, 第 2 班希望順位 (申込状況により第 1 希望に添えない場合がありますので, あらかじめご了承下さい) を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

**申込先** 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: i-love-tmsj@nifty.com

テキスタイルカレッジ

## 合織の基礎と最新の技術

合成繊維についての、合成・重合・紡糸（スーパー繊維を含む）、糸加工、製布、染色加工および特化素材について、基礎から最新の技術までを体系的に習得できるようなプログラムを企画しました。

これから繊維事業に携わる技術者にはひとつの分野の専門を有するだけでは不十分で、広い範囲の知識が求められます。本講座はこのようなニーズにも応えられるものと確信しています。

講義にはできるだけ現物（サンプル）を提示するようにし、質問にも答える時間を設けていますので、この機会に多数の方々のご参加をお待ちしています。

**日時** 平成 26 年 12 月 8 日（火）、9 日（水）10.00～17.10

**会場** 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町 1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28 号出口北へ徒歩 5 分）

**内容**

### 第 1 日目【12 月 8 日（火）】

- (1) 化合織概論（10.00～12.00）…………… 山崎技術士事務所 代表 山崎 義一  
 一種々の化学繊維の概要を説明し、その技術史ならびに産業論を含めて解説します。
- (2) 合成繊維のモノマー、重合、ポリマー、化学改質（13.00～15.00）  
 …………… 名古屋大学名誉教授、名古屋産業科学研究所 上席研究員 小長谷重次  
 ー3 大合織とポリウレタンを対象としたモノマー、重合、ポリマー、化学改質について解説します。
- (3) 合成繊維の繊維化プロセス、構造と物性の関係（15.10～17.10）  
 …………… 龍谷大学 REC、P&P リサーチ代表、日本繊維機械学会フェロー 石原 英昭  
 ー紡糸工学の概要を説明し、特に熔融紡糸、乾式紡糸などの実際例を紡糸挙動、繊維構造、物性などと関連づけて解説します。

### 第 2 日目【12 月 9 日（水）】

- (4) 合成繊維の高次加工ー糸加工、製布（10.00～12.00）…………… 日本繊維技術士センター 藤田 隆嘉  
 ー合成繊維フィラメントの高次加工としての仮撚、エア加工、撚糸および混織・複合を含む糸加工の目的、手法、効果、それを生かす製布の概要について解説します。
- (5) 合成繊維の高次加工ー染色加工（13.00～15.00）…………… 日本繊維技術士センター執行役員 嶋田幸二郎  
 ー合成繊維の染色技術および染色加工工程での高付加価値加工や繊維性付与技術について、原糸開発との関連において、その基礎知識と最近の技術動向を解説します。
- (6) スーパー繊維とその用途展開（15.10～17.10）  
 …………… 東洋紡(株) 機能材開発研究所 所長 寺本 喜彦  
 ー近年、スーパー繊維として脚光を浴びている有機系の高強度・高弾能率繊維を中心に、その基本から最近の用途開発事例について解説します。

**協賛** 大阪染色協会

**定員** 30 名（定員になり次第締め切らせて頂きます）

**参加費** 会員 25,000 円、非会員 33,000 円、学生会員 3,000 円、学生非会員 5,000 円（税別）

**申込** 「テキスタイルカレッジー合織の基礎と最新の技術」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス）、④会員種別を記入の上、FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4、大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: i-love-tmsj@nifty.com

## 東海支部 支部総会ならびに記念講演会

東海支部では、下記の要領にて支部総会ならびに記念講演会を開催します。  
多数の方々のご参加をお待ちしています。

**日時** 平成 27 年 6 月 30 日(火) 11.00~16.00

**会場** あいち産業科学技術総合センター尾張繊維技術センター（愛知県一宮市大和町馬引字宮浦 35）  
記念講演会 一宮地場産業ファッションデザインセンター 4 階視聴覚室  
（愛知県一宮市大和町馬引字南正亀 4-1）

**内容** 1. 支部総会（11.00~12.00）  
2. 記念講演会（13.20~16.00）  
(1) 布を用いた柔らかい入力デバイスの開発（13.20~13.35）  
..... あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター 主任研究員 堀場 隆広  
(2) 羊毛繊維の銀粒子沈着処理と処理羊毛布の特性（13.35~13.50）  
..... 椋山女学園大学大学院 舟橋みゆき  
(3) 質量分析計を利用した新しい獣毛鑑別法（13.50~14.50）  
..... 金沢工業大学 ゲノム生物学研究所 所長 大箸 信一  
(4) デジタル捺染技術について（15.00~16.00）..... 長瀬産業(株) 山田 竜二

**参加費** 無料

**申込** 「東海支部ならびに記念講演会」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号）を記入の上、E-mail にて下記宛お申し込み下さい。

**申込先** E-mail: owari-kikaku@aichi-inst.jp  
〒491-0931 愛知県一宮市大和町馬引字宮浦 35 TEL. 0586-45-7871

## 関東支部 支部年会

**日時** 平成 27 年 7 月 27 日(月) 15.30~16.45

**会場** 東京工業大学蔵前会館 2F 小会議室 1（東京都目黒区大岡山 2-12-1）  
最寄り駅：大岡山駅（東急目黒線、東急大井町線）

**内容** 支部年会（15.30~16.45）  
第 1 号議案 平成 26 年度事業報告  
第 2 号議案 平成 26 年度決算報告  
第 3 号議案 平成 27 年度事業計画案  
第 4 号議案 平成 27 年度予算案

**問い合わせ** 関東支部長、群馬大学 理工学府 環境創生部門 河原 豊  
TEL. 0277-30-1491, E-mail: kawahara@gunma-u.ac.jp

**申込** 「関東支部年会」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号）を記入の上、E-mail または FAX にて下記宛お申し込み下さい。

**申込先** E-mail: idaida@gunma-u.ac.jp, FAX. 0277-30-1409

## 第 22 回秋季セミナー

**期日** 平成 27 年 11 月 26 日(木)、27 日(金)

**会場** 大阪大学中之島センター（大阪市北区中之島 4-3-53）

**その他** 詳細は次号をご参照下さい。

## FMC 7月度セミナー

FMC（ファッション素材センター）の7月度セミナーは、下記により開催されます。非会員でもビジターとして参加できます。ご関心のある方はお申し込み下さい。

詳しくは FMC のホームページ ([http://www.geocities.jp/fmc\\_webpage/](http://www.geocities.jp/fmc_webpage/)) をご参照下さい。

**日時** 平成 27 年 7 月 3 日(金) 18.15~20.00

**会場** 大阪産業創造館 5F 会議室 AB (大阪市中央区本町 1-4-5)

**内容** 中国をはじめとする東南アジアの品質管理と日本の品質管理について

中国、韓国、台湾の内販制度の概要を中心に各国の品質管理情報を紹介します。併せて、日本での品質管理の考え方の紹介と「新しい取扱絵表示」、「子ども用衣料の安全性に関する JIS の制定」及び「アゾ染料の法規制」など、最近の日本国内における品質管理に係わる動向についても紹介します。

**講師** (一財) ボーケン品質評価機構 業務部大阪業務課 研修センター所長 平岩 清隆

**参加費** ビジター会員 2,000 円。当日受付にてご納入下さい。[会員は年 11 回のセミナー (10 月は見学会) に無料で参加できます。年会費 12,000 円でどなたでも会員になれます。]

**参加費** 「FMC 7 月度セミナー」と明記し、①氏名、②住所、③電話または FAX 番号をご記入の上、6 月 26 日(金)までに E-mail にて下記宛お申し込み下さい。

**申込先** 大阪樟蔭女子大学 被服学科内 FMC 事務局

E-mail: [fmc.office.mail@gmail.com](mailto:fmc.office.mail@gmail.com)

## 協賛行事 第 148 回講演会軽量化技術の最新動向と開発事例

**日時** 平成 27 年 7 月 17 日(金)

**会場** タワーホール船堀 (東京都江戸川区船堀 4-1-1)

**主催** プラスチック成形加工学会

**内容** (1) 自動車を取り巻く環境と軽量化技術開発について ..... トヨタ自動車(株) 河村 信也  
 (2) CF, CFRTP の開発動向と日本での取り組み ..... (公財) 石川県産業創出支援機構 西原 正浩  
 (3) CFRP ボディを世界で初めて実用化した量販 EV ..... 山根健オフィス 山根 健  
 (4) ドイツにおける軽量化技術開発現状から量産化まで ..... GSI Europe 社 上村泰二郎  
 (5) 樹脂外板の樹脂化に関する取り組み階層的イメージング技術と事例 ..... 立化成(株) 鈴木 繁生  
 (6) 軽量化と高機能化を支える最新射出成形技術 ..... 三菱重工プラスチックテクノロジー(株) 戸田 直樹

**参加費** 協賛学協会員費にて参加できます。

**その他** 詳細はプラスチック成形加工学会 HP をご参照下さい。

## 共立女子大学家政学部 被服学科 専任教員公募

1. 採用職名：講師、准教授 あるいは教授 1 名
  2. 所属学科：家政学部 被服学科
  3. 専門分野：被服材料学
  4. 担当科目：学部科目 被服材料学 I, II, 被服材料学実験 I, II, 繊維学実験, 卒業論文, 卒業演習等  
大学院博士前期科目 被服材料学特論, 被服材料学演習, 被服学特別研究 (修士論文) 等
  5. 採用年月日：平成 28 年 4 月 1 日 (予定)
  6. 応募締切：平成 27 年 8 月 31 日必着
  7. お問い合わせ先：khsaiyou@kyoritsu-wu.ac.jp
- 応募条件等の詳細は本学 HP (<http://www.kyoritsu-wu.ac.jp/recruit/index.html>) をご参照ください。